

パネルディスカッション  
「小児の放射線治療とプレパレーション」  
Radiation therapy and psychological preparation for  
the pediatric cancer patients

藤原 彩

Aya FUJIWARA

広島大学病院チャイルド・ライフ・スペシャリスト

Hiroshima University Hospital Child Life Specialist

---

チャイルド・ライフとは、北米における病院、およびその関連施設において、医療的ニーズのある子どもとその家族を対象に、子どもが感じる可能性のあるストレスと不安を最小限に抑え、最良の成長と発達を保障するために開発、導入された専門的な介入であり、それを実践するのがチャイルド・ライフ・スペシャリスト（以下、CLS）である。わが国では約20年前に初めてチャイルド・ライフ・プログラムが導入されて以来、少しずつではあるが全国にその活動が広がってきている。しかし、多くのCLSがひとつの施設に1~3名と少ない数で勤務しており、他の医療チームメンバーの理解と協力、そしてビジョンを共有した連携なしには、十分なプログラム運営は難しい状況である。

広島大学病院小児科では、2005年3月よりCLSが配属され、2013年より放射線治療を受ける子どもとその家族に対して、放射線科のスタッフと協働してプレパレーションをおこなっている。本発表では、チームでおこなうプレパレーション過程におけるCLSの視点、役割に焦点を当て、当院のように限られた時間と環境の中で子どもたちの精神的負担の軽減へ向けて、実現可能なチーム連携の在り方について議論したい。